

公開・非公開の別	☒ 公 開	☐ 部分公開
	☐ 非公開	

令和 8 年度第 1 回浜松市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和 8 年 6 月 30 日（火） 午後 3 時から午後 4 時まで
- 2 開催場所 浜松市役所本館 8 階第 4 委員会室
- 3 出席状況
- 出席委員

太田 正義（常葉大学 准教授）
藤田 晴康（（公財）浜松市スポーツ協会 常務理事兼事務局長）
伊藤 裕子（（一社）ぺんぎん村水泳教室 代表）
宮崎 正（浜松市立高等学校 校長）
影山 ちか（浜松市中学校体育連盟 会長）
中村 竜久（浜松市小学校体育連合 会長）

欠席委員

高橋 勇二（（一社）浜松市医師会 理事）
恩田かおり（浜松市幼稚園長会 会長）

説明課

佐藤 智香 学校・地域連携課長
鈴木 亨 学校・地域連携課長補佐
堀野 智浩 学校・地域連携課 部活動地域展開グループ長

事務局

杉田 実良 スポーツ振興担当部長
栗田 豪 スポーツ振興課長
松本 淳一 スポーツ振興課長補佐
鈴木 一隆 スポーツ振興課政策グループ長
沼野 恵樹 スポーツ振興課コミッショングループ長
- 4 傍聴者 0 人
- 5 議 事
- スポーツ団体に対する補助金交付事業について
浜松市はまクル認定クラブ活動支援事業費補助金（部活動地域展開推進事業）
第 3 期浜松市スポーツ推進計画の評価（進捗管理）について

6 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

7 発言内容

<開会>

1 会長挨拶

2 議 事

太田会長：議事について、事務局から説明願う。

議事：スポーツ団体に対する補助金交付事業について
浜松市はまクル認定クラブ活動支援事業費補助金（部活動地域展開推進事業）

佐藤課長：資料 1 の説明

藤田委員：外部有識者や指導者に対して支払う諸謝金の基準や上限はあるか。

佐藤課長：謝金の基準はなく、活動内容やクラブの規模、指導者の性質によって金額は異なると認識している。一定の金額は決めていないが、部活動指導

員の現状の謝礼額を示しており、それを参考にしてもらうことを想定している。

宮崎委員：指導者の人数に上限はあるか。

佐藤課長：設けていない。1つのクラブの中で2人以上という設定はあるが、3人、4人いたとしても問題はない。

影山委員：登録クラブの一覧はどのように閲覧することができるのか。

佐藤課長：はまクルのポータルサイトで閲覧が可能。競技別、活動学区ごとの絞り込み検索ができる。

太田会長：補助金は、各月の活動回数が確定した後に、事後的に支払われるのか。

佐藤課長：支払いのタイミングは概算払いも検討している。

太田委員：準備資金等への補助金は考えていないか。

佐藤課長：申請期間は、活動している期間を対象期間としているため、準備期間に要した費用は対象とならない。

太田会長：補助金の保険料について、「今年度は対象期間から外れるため、全額対象外経費」となるのは、補助期間が年度途中からのため外しているのか。

佐藤課長：そのとおり。保険は年間で入っているという認識のため、外している。

太田会長：経済的困窮世帯への支援について、今後示されるものはあるか。

佐藤課長：令和8年度予算で計上している。具体的には、就学援助受給世帯の子どもに、クラブへの参加費を援助するという仕組みを今年度から実施していく。

太田会長：事務的に手続きが煩雑になりそうな立て付けだと認識している。小さい団体など人数が少ないと事務が大変なため、簡素化する方法を考えていただきたい。

佐藤課長：説明会は丁寧に行っていく。書式をポータルサイトに掲載するなどして対応していきたい。

議事2：第3期浜松市スポーツ推進計画の評価（進捗管理）について

鈴木G長：資料2の説明

宮崎委員：マリンスポーツの聖地化を目指しているということだが、ビーチバレーコートを整備する予定はあるか。

鈴木G長：遠州灘海浜公園江之島地区において、国内最大級のコート整備を進めており、ビーチバレー、ビーチサッカー、ビーチラグビー等が利用可能となる。

宮崎委員：仮にビーチバレーの全国大会を浜松で開催するとなると、いつから開催が可能となるか。

杉田部長：令和 10 年 2 月にフルオープンする予定である。

鈴木 G 長：全国大会の場合、10 面以上のコートが必要。現状のコートでは面数の確保が難しいため、全国大会の開催は令和 10 年 2 月以降となる。

杉田部長：競技団体を含め誘致に向けて動いている。

中村委員：小体連としては、昨年度から部活動がほとんどなくなり小学生の運動習慣が薄れている。教員研修を行いながら楽しい体育授業を目指しているが限界がある。クラブチームに入らない子は体育しか運動の機会がないため、スポーツ協会と連携して小学生に運動の入口となる取り組みを実施していただきたい。

太田会長：スポーツ推進委員の担い手不足や体育振興会の活動休止が出始めているという部分が気になっている。地域展開にあたり、実際に支えていくリソースとして事務局はどのように考えているのか。

栗田課長：今後のスポーツ活動維持については地域において活動している体育振興会、地域（中学校区）に根付いて活動しているスポーツ推進委員への支援の状況を踏まえ継続していく。

また、各競技団体においても強化の取り組み（ピラミッドのトップを伸ばす取り組み）とともに、各競技団体の下支えの取り組み（ピラミッドの底辺を広げる取り組み）を考えていきたい。

地域団体+競技団体の両輪での機会を設けることを想定している。

影山委員：今後、競技団体と新人戦や今後の大会について話し合っていくが、スポーツ振興課や学校・地域連携課、スポーツ協会も協力してもらえるか。

栗田課長：教員を軸とした組織である中体連が学校から離れる一方で、指導者という面では教員が地域で活躍することは継続されると認識している。学校が裏で支えていた部分をどこが担うのか。スポーツ振興課、協会を含めより良い方向へ向かうように検討していきたい。話し合いへの参加については検討する。

太田会長：小中学校スポーツ施設開放事業において、中体連は優先予約できるのか。

栗田課長：各学校長の権限で貸し出せることが前提のため、学校の授業や部活動等は第一優先となり、それ以外の開放可能な時間帯について小中学校スポーツ施設開放事業としてシステム上で貸し出している。

太田会長：スポーツ施設が老朽化しており、暑熱対策やUD化など時勢に沿った要望を踏まえ、改善していく必要のある施設が多数ある中で、浜松球場を始め今後の計画としてはどうなるか。

杉田部長：四ツ池公園運動施設については先日の特別委員会で示したとおり、県が進めている野球場の整備が進まないため、浜松球場を残したまま陸上競技場を整備していく。

その他、老朽化が進んでいる浜松アリーナや暑さ対策の課題を抱えている武道館など計画的に進めているものについては順次進めている。

藤田委員：四ツ池の駐車場スペースが少ない中で、現段階で駐車場改善の計画があるのか。

杉田部長：ある。現状駐車スペースは200台となっているが、どれくらい必要となるか計画において検討する。ただし、交通への影響や近隣の住民からの意見もある中で適正な台数をはじく必要がある。スポーツ施設としてだけでなく、都市公園として決定している側面があるため、公園側と調整していく。

藤田委員：改善の見込みは数年後ということか。

杉田部長：第2野球場、公園管理事務所を廃止し、まずはサブグラウンドを整備する計画であり、その流れの中で駐車場を整備していくため、数年はかかる見込みである。

藤田委員：陸上関係者から強い要望をいただいている。

杉田部長：西部陸上競技協会とも連携を取っている。やみくもに台数を増やしても交通渋滞を生むだけであり、近隣住民への影響も考慮しながら適正な台数を検討していく。

藤田委員：12 ページのアウトカム指標だが、「する」「みる」「ささえる」という部分はスポーツ協会としても努力していく分野だが、実施率と観戦率が2024年度比で落ち込んでいるが、事務局として分析はしているか。

鈴木G長：2024年度、2025年度の実績は市民アンケートの中でとっている。市民アンケートは市全体の施策に関するアンケートであり、設問数が多くなることによって回答率が変わるため、それが影響しているのではないかと考えている。

太田会長：無作為抽出とのことなので、しっかりしたサンプルとは思いつつ、揺れが大きくて指標として縛られ過ぎるのもどうかと感じている。第1期では指標として採用しておらず、途中から採用している。評価のありようも審議会の中で検討していく必要がある。軽スポーツをやりたい人は多く、仕組みを作れば、実施率は上がるはず。

報告事項 資料3

報告事項 資料4

報告事項 資料5

太田：議事を終了し、事務局にお返しする。

<閉会>